

オキ探 -12月の隠岐の自然- 1月号

隠岐の固有種オキサンショウウオ

隠岐・島後の森の中の溪流や山地には隠岐にしかない、「オキサンショウウオ」という動物が生息しています。オキサンショウウオは隠岐では昔から「アシゴズ」（足のあるゴズ＝方言でハゼの意味）として島民に知られていました。

今月は隠岐の森林でオキサンショウウオを観察することができたので、オキサンショウウオに迫ります！

オキサンショウウオはどんな動物？

- ・サンショウウオ目オキサンショウウオ科
- ・隠岐の固有種
- ・分布：隠岐諸島の島後のみ
- ・いる場所：溪流から山地にかけて生息。
- ・隠岐の島町の天然記念物に指定される。
- ・絶滅危惧種：環境省の絶滅危惧Ⅱ類、島根県の絶滅危惧Ⅱ類に登録。
- ・IUCN（国際自然保護連合）で絶滅危惧種に指定されており、世界的にも貴重な動物。



土の上にじっとしているオキサンショウウオ
撮影日：2021年12月7日



オキサンショウウオの見た目

サンショウウオは日本に多くの種類がありますが、中でもオキサンショウウオは「日本有尾類総説」で日本のサンショウウオの中で1、2を争うほどに美しいと記載されました。

- ・大きさ：成体約12～13cm
- ・体の色：赤紫色やあめいろ。黄色の斑点がまばらにつくもの、斑点がないものなど個体差があります。

オキサンショウウオは何がすごいの？

サンショウウオは幼生（こどもの頃）の住む環境によって、流れのない場所に住む止水性と流れのある場所に住む流水性に分けられます。オキサンショウウオは、流れのある場所に住み流水性の特徴を持っています。しかし爪やDNAなどを調べると止水性の特徴があり、両方の特徴をもっていることが特徴です（図）。このことからもともと流水性であった祖先種が止水性から再び流水性に進化したと考えられています。

最近の研究ではオキサンショウウオをそれぞれ別地点で採取しDNAを調査した結果、種内で遺伝子が変異していることが、明らかになりました。これは島内での地形による隔離によって遺伝子の違いがでたのではないかと考えられています。



	止水性	流水性
生態	池などに住む	流れのある場所に住む★
幼生の生活場所	流れのない場所	流れのある場所★
爪	爪がない★	爪がある
染色体の数（DNAの集合体）	2n = 56★	2n = 58

★オキサンショウウオ

図

Q. オキサンショウウオは持ち帰って飼育してもいい？

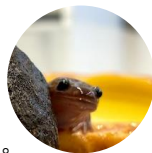
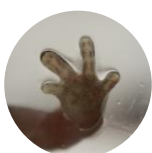
A. 持ち帰ったり、飼育したりはできません。

オキサンショウウオは隠岐の島町の天然記念物に指定されており、基本的に触ったり、持ち帰ったりすることが禁止されています。しかし研究などの目的で隠岐の島町から許可を得た場合は、飼育することができます。見つけた場合はそっと観察しましょう。

←Q. これはオキサンショウウオのどこ？

正解は2ページ下へ！

隠岐ジオゲートウェイ1Fではオキサンショウウオを5匹飼育・展示しています。ふだんはなかなか見られないオキサンショウウオをぜひ見に来てください！※隠岐の島町から許可を得て飼育・展示しています。



スタッフが観察した植物

**アオキの実（青木）**

日本の温帯に分布。隠岐でもいたる所でみられる。葉は年中青く、冬になると赤い実をつけよく目立つ。

花期：9～11月

場所：大満寺山（島後）

撮影日：2021年12月6日

**フキノトウ（蔞の薑）**

山野に生える多年草。地下茎を伸ばして増える。春先に花になる若い茎が見られ、春の山菜として有名。冬にも小さなフキノトウがみられる。

花期：3～5月

場所：大満寺山（島後）

撮影日：2021年12月6日

**ヤブツバキ（藪椿）**

沿岸から山地帯までの暖温帯・亜熱帯に自生する。冬に赤い大ぶりの花を咲かせる。

花期：11～12月、2～4月

場所：高田山（島後）

撮影日：2021年12月21日

**ツワブキの種（石蔞）**

他の花が終わったところに黄色の花が咲くため、初冬の季語になっている。茎の部分はフキと同じようにキヤブキとして食べられる。

花期：10～12月

場所：布施（島後）

撮影日：2021年12月21日

**トケンランの葉（杜鵑蘭）**

亜寒帯～冷温帯の落葉樹林下に生える。島根県内での生育地はもともと稀であり、樹林伐採や採取により存続が脅かされている。

冬には葉だけになり、初夏に花を咲かせる。

花期：5～6月

環境省：絶滅危惧II類

島根県：絶滅危惧II類

**オキノアブラギキク（隠岐の油菊）**

隠岐固有の植物。10月～11月にかけて鮮やかな黄色い花が咲く。この写真は12月末に撮影したが、咲きおわりのオキノアブラギクがみられた。

花期：10～11月

場所：東郷（島後）

撮影日：2021年12月21日

参考文献
林 将之（2016）山溪ハンディ図鑑14樹木の葉、759pp、山と溪谷社、東京
林 弥栄・門田裕一・平野隆久（2019）山溪ハンディ図鑑1野に咲く花、664pp、山と溪谷社、東京
門田裕一・永田芳男・畔上能力（2018）山溪ハンディ図鑑2山に咲く花、616pp、山と溪谷社、東京
島根県環境生活部自然環境課（2013）改訂しまねレッドデータブック2013植物編、254pp、公益財団法人しまね自然と環境財団、島根

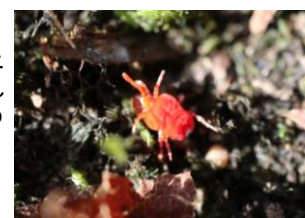
スタッフが観察した動物

**ヤマユギの仲間のまゆ**

登山道に落ちていた、まゆ。ヤマユギのまゆは古くから上質な生糸の原料として重宝されてきた。この写真のようなまゆ1つから約600～700mの生糸をとることができる。

場所：高田山（島後）

撮影日：2021年12月21日

**ナミケダニ科のダニ**

このダニの仲間はクモと同じ8本の脚を持ち、体の表面にはビロードのような毛が生える。大きさなどからアカケダニではないかと思われる。

場所：大満寺山（島後）

撮影日：2021年12月6日

スタッフのひとりごと風

冬の山を歩くと、広葉樹の葉が落ちて普段は葉に隠れて見えていなかった景色や植物、動物を見ることができます。

今回見つけたのは、木の枝にアフロのようにつつく植物。これはヤドリギという植物の仲間です。鳥巢ではありません。木に寄生して生きる植物ですが、春や夏、秋は木の葉で隠れていてあまり目立ちません。

冬になり木の葉が落ちるからこそ見つけやすくなる植物。山の景色は季節でころころと変化してとても面白いです。みなさんも冬の山をぜひ登って普段と違う景色を見つけるのはいかがでしょうか。



ヤドリギの仲間

大満寺山山頂からの景色
落葉して景色がよく見渡せる。

1ページ目の答え：前足
オキサンショウウオの前足は指が4本、
後ろ足は5本に分かれています。

【お問い合わせ】

(一社) 隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会

担当：立花

TEL：08512-3-1321 Fax：08512-3-1322 Email:info@oki-geopark.jp



隠岐の大切な自然を守るために、**ルールとマナーを守りましょう。**

自然公園では動植物を許可なく採取することは法律で規制されています。